

田原市総合計画【原案】 要旨

平成24年10月
田原市

<目次>

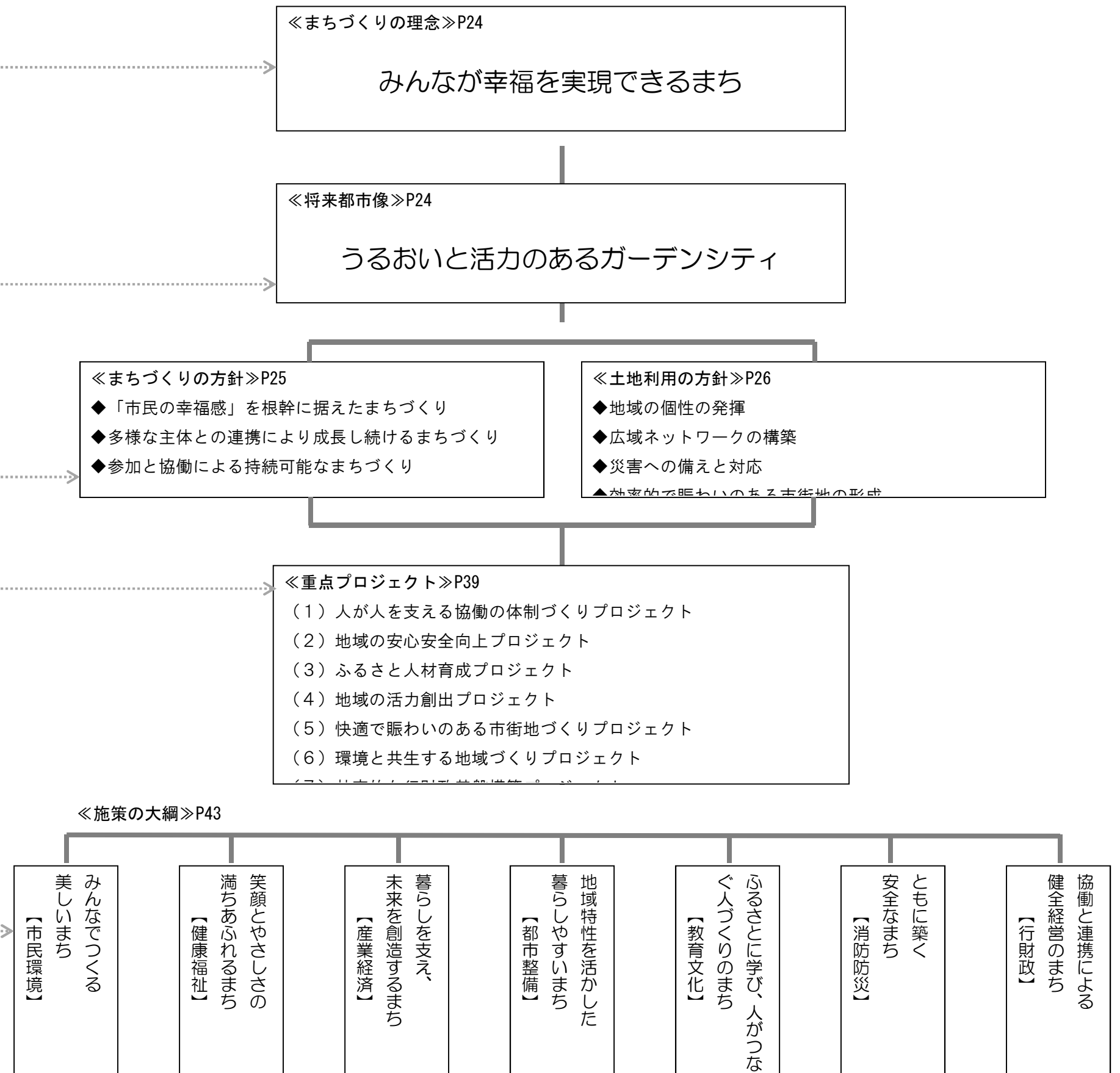
田原市総合計画原案骨子	1
目指す都市の姿「基本構想」	2
将来都市像実現の方策「基本計画」	3
田原市の課題の検証	5
「田原市の課題」へ対応するための施策体系	6
「強み・弱み」等主な意見の計画への反映イメージ	7

田原市総合計画原案骨子

<背景>

- 低成長・成熟化の時代を迎える中、経済的なものさしのみですべてを測る考え方からの脱却が必要。
 - これからは、**経済成長が見込めなくても、田原市民誰もが幸福を実現することができる環境を創造していく**ことが必要。
 - 主役である**市民は、様々な人との結びつきの中で、自らの存在意義の確認や、自己実現を通じて幸福を追求**していく。
 - 行政は**市民が幸福を追求できる環境を整え、市民の活動を下支え**していく。
 - 以上の考え方をまちづくりの根幹に据え、まちづくりの理念として「**みんなが幸福を実現できるまち**」を掲げ、**市民の参加と協働のもと、市民の幸福度を高める取り組みを推進**。
-
- まちづくりの理念に基づき目指す**将来都市像として「うるおいと活力あるガーデンシティ」**を掲げる。
 - 海と緑に包まれた渥美半島の中で、活発な産業と豊かな暮らしが共存する美しく誇りあふれる田園都市への想いを込め**第1次総合計画の将来都市像を継承**する。
-
- 「まちづくりの理念」を受け、将来都市像「うるおいと活力あるガーデンシティ」を実現するため、これからの**田原市の行政運営の基本的な考え方となる「まちづくりの方針」と将来都市像の実現を図る上で配慮すべき「土地利用の方針」**を定める。
-
- 社会・経済動向、本市の現状等から整理した田原市の課題の克服を目指し、将来都市像の実現を図るため、**本計画期間内に全分野を横断して重点的に取り組む7つのプロジェクト**を設定。
 - 市民の幸福感に大きく影響すると考えられる重点プロジェクトは、共通の認識のもと市民と行政が一体となって重点的に取り組む。
 - 重点プロジェクトの積極的な推進、適正な管理を図るうえで、組織の効率化と意思決定の迅速化を目指し、**行政内部の横断的な体制を構築**。

<計画骨子>



目指す都市の姿「基本構想」

第1章 目指す都市の姿 (P24～)

＜まちづくりの理念＞ 「みんなが幸福を実現できるまち」

○経済的成長が見込めなくても、田原市民誰もが幸福を実現することができる環境を創造
 ➤主役である市民は、様々な人との結びつきの中で自らの存在意義の確認や、自己実現を追究
 ➤行政は市民が幸福を追求できる環境を整え、市民の活動を下支え

＜将来都市像＞ 「うるおいと活力のあるガーデンシティ」

海と緑に包まれた渥美半島の中で、活発な産業と豊かな暮らしが共存する
 美しく誇りあふれる田園都市を実現

第2章 将来都市像実現のための方針 (P25～)

＜まちづくりの方針＞

◆将来都市像実現を図るため、これからの行政運営の基本的な考え方を示す。

方針1 「市民の幸福感」を根幹に据えたまちづくり

○「市民が幸福を追求できる環境を整え、市民の活動を下支えしていくこと」を行政の使命と位置づけ。

○市民が日々の暮らしの中で、幸福感を得られることを目指してまちづくりを進める。

方針2 多様な主体との連携により成長し続けるまちづくり

○国・県に依存しない「自立した地域づくり」が求められるなかで、今後は、「市民・地域」はもとより「産・学・官」「国内・外」などとの連携を強化。

○多様な主体の知恵と活力を活かしながら、地域資源を有効活用し、本市の「人口」「経済」等の維持・成長を図る。

方針3 参加と協働による持続可能なまちづくり

○地域主権改革の意義、田原市市民協働まちづくり条例に基づき「自助・共助・公助の役割分担の明確化」や「市民参加の仕組みづくり」に取り組む。

○多様な主体の参加と協働のもと、「都市としての自立」を図り、「豊かさ」「暮らしやすさ」を次の世代へと引き継いでいく。

＜土地利用の方針＞

◆将来都市像実現を図るため配慮すべき「土地利用の方針」と、これに基づく「都市基盤の整備計画」「土地利用計画」を示す。

方針1 地域の個性の発揮

○市街地拠点、交流拠点等の特性を活かし、かつ、機能分担と連携を図ることで効率的なまちづくりを実現。

○海岸線、港湾、農地など特性を活かした土地利用と、半島地形に起因する交通・連携の制約を克服。

方針2 広域ネットワークの構築

○環伊勢湾地域において伊勢地域と西遠地域を結ぶ本市の機能・役割を強化。

○東三河地域、三遠南信地域全域に寄与する産業等の集積や連携を深める幹線道路の整備促進など、本市を含めた近隣地域の自立を連携を高めるための都市づくり。

＜都市基盤の整備計画＞

1) 幹線道路等の充実
 2) 港湾の振興
 3) 水環境の整備

＜土地利用計画＞

特徴的なゾーン 1) 農業活性化 2) 臨海産業 3) 表浜海浜環境 4) 三河湾環境
 5) 自然景観形成

拠点 1) 市街地拠点 2) 交流拠点 3) 防災拠点

方針3 災害への備えと対応

○南海トラフの巨大地震やこれに伴う津波、ゲリラ豪雨など大規模な災害の発生に備え、危険区域における防災基盤を強化。

○リダンダンシー（余裕性）の確保に配慮したまちづくりを進める。

方針4 効率的で賑わいのある市街地の形成

○産業の活性化や安定の促進、都市の効率性を高めるため、既存の都市基盤を活用しながら都市機能を集約し、コンパクトシティの実現を目指す。

第3章 都市経営指針 (P30～)

＜長期財政計画＞

◆計画期間中の財政計画を示す。

○税収の増加が見込めず、交付税が段階的に減少するなかで、高齢化による社会保障費の増加、老朽化する公共施設の維持更新経費の拡大が見込まれる。

○このような前提を踏まえ、将来都市像の実現を図るため、**これまで以上に資源を有効活用し、健全で計画的な財政運営**に取り組む。

＜都市基本指標＞

◆将来都市像達成に向けた進捗状況を表す指標を設定。

①市民幸福度指標

田原市民の追及するため本計画に「**田原市民が幸福を追求できる環境（案）**」と「**市民幸福度指標**」を設定。

●田原市民が幸福を追求できる環境（案）

○「子ども」が一定の「知識」や「能力」、「道徳」を身につけることができ、かつ自らの「夢」に挑戦し続けることができる環境

○「成人」が安心して「子育て」「介護」を行うことができ、かつ自らの「夢」「仕事」「信念」に取り組むことができる環境

○「高齢者」が健康で社会から孤立することがなく、かつ個々が会得した「知識」「技術」「経験」を地域・社会に還元できる環境

②人口関連指標（平成34年の目標人口フレーム）

○「定住人口」64,000人（国勢調査人口）
 ○「交流人口」12,000人/日（国勢調査 通勤・通学者 観光客（宿泊））
 ○「活動人口」30%（市民意識調査 地域活動やボランティアに参加している市民）
 ※H22「定住人口」64,119人「交流人口」11,501人/日「活動人口」15.2%

③経済関連指標

○「市内総生産」700,000百万円（愛知県県民経済計算）
 ※H20「市内総生産」576,543百万円 H19「市内総生産」1,038,300百万円

④財政健全度指標

○効率的な財政運営の指標として「基金残高」「公債費」「経常収支比率」「財政力指数」「健全化判断比率及び資金不足比率」「財政書類4表」を設定

将来都市像実現の方策「基本計画」

将来都市像 「うるおいと活力のあるガーデンシティ」

<p>第2章 重点プロジェクト (P39～)</p> <p>◆田原市の課題の克服を目指し、将来都市像の実現を図るため、本計画期間内に全分野を横断して重点的に取り組む7つのプロジェクト</p>	人が人を支える協働の体制づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ○校区コミュニティ協議会による地域づくりを支援するとともに、様々な分野で多様な主体との共同体制を構築 ○地域づくり・まちづくりの担い手の増加と活動団体間等のネットワーク機能を強化
	地域の安心安全向上プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の防災力・防犯力、交通安全の向上や医療体制の充実など、安心安全に資する地域づくりを推進 ○市民が助け合い、支え合いながら、子どもや高齢者が健やかに生活することができる環境・地域づくりに取り組む
	ふるさと人材育成プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の特性を活かした学校教育、地域教育、家庭教育を進め、まちぐるみでの子育て、教育を推進 ○故郷に誇りと愛着を持ちながら、先進的かつ国際的な視野を持ち、国内外に向けて様々な発信ができる人づくり
	地域の活力創出プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ○本市の地域資源を発掘、磨きあげるとともに、効率的・効果的な情報発信を行い、田原市の魅力度・知名度を高める ○広域連携により地域全体の価値を高めていく
	快適で賑わいのある市街地づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ○ハード・ソフトの両面から効率的で賑わいと活力のある市街地の形成に取り組む ○地域公共交通の路線や運行形態のあり方について、市民との意見交換を重視しながら検討を進める
	環境と共生する地域づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ○菜の花エコ、再生可能エネルギーの導入、資源循環・省エネルギーの推進など環境負荷低減に向けたまちづくりを推進 ○周囲の環境を美しく保つための活動を地域全体に広げ、本市の有する美しい自然環境や景観を保全
	効率的な行財政基盤構築プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ○さらなる財政規模の縮小を想定に入れた人材、資産、税等の運用や、広域連携等により、効率的な行財政運営を推進 ○市民と行政の間で情報の受発信を積極的に行うことで、市民の声を市政に反映

<p>第3章 施策の大綱 (P43～)</p> <p>◆総合計画を構成する全施策の枠組みとして7つの「分野」で構成</p>	<p>みんなで作る 美しいまち 【市民環境分野】</p>	<p>笑顔とやさしさの 満ちあふれるまち 【健康福祉分野】</p>	<p>暮らしを支え、 未来を創造するまち 【産業経済分野】</p>	<p>地域特性を活かした 暮らしやすいまち 【都市整備分野】</p>	<p>ふるさとに学び、 人がつなぐ 人づくりのまち 【教育文化分野】</p>	<p>ともに築く 安全なまち 【消防防災分野】</p>	<p>協働と連携による 健全経営のまち 【行財政分野】</p>
---	--------------------------------------	---	---	--	--	-------------------------------------	---

<p>第4章 分野別計画 (P45～)</p> <p>◆各分野において重点プロジェクトと連動し重点的に取り組む「主要プラン」、市民協働のモデルとなる「市民協働モデル事業」、施策体系に基づく「分野施策」を位置づけ</p>	<p><主要プラン></p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民活動の裾野を広げる担い手づくり ○危機意識を高め地域一体となった、防犯・交通安全対策の充実 ○清掃・水質浄化活動の活性化による美しいまちづくり ○再生可能エネルギー等を活かした持続する地域づくり ○政策方針決定過程への女性の積極的な参加 <p><市民協働モデル事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○田原のよさを知り、よさを活かすプロジェクト 	<p><主要プラン></p> <ul style="list-style-type: none"> ○誰もが、いつまでも地域で生活できるまちづくり ○元気で長生きを目指す健康づくり ○安心して子どもを産み、育てられる環境づくり ○安心して医療にかかることができるまちづくり <p><市民協働モデル事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の見守りネットワークプロジェクト 	<p><主要プラン></p> <ul style="list-style-type: none"> ○担い手の育成 ○地域ブランドの推進 ○賑わいのあるまちなかの創出 ○観光プロモーションの充実 <p><市民協働モデル事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○農商工仲間づくりプロジェクト 	<p><主要プラン></p> <ul style="list-style-type: none"> ○美しく、安全で快適な道路環境の維持 ○使いやすく適正な公共交通の仕組み構築 ○田原市の自然を活かした美しい景観の形成 ○災害に備えたライフライン・都市基盤づくり <p><市民協働モデル事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○グリーン・クリーン・道づくりプロジェクト 	<p><主要プラン></p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの個性をみかく、学びの環境づくり ○子どもと地域との交流機会の充実 ○身近に文化・芸術・スポーツがある地域づくり ○次の世代への田原市の歴史・文化の継承 <p><市民協働モデル事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○開かれた学校づくりプロジェクト 	<p><主要プラン></p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災についての意識啓発と正しい知識の普及 ○地域における防災組織の強化 ○災害時要援護対策の強化 <p><市民協働モデル事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○みんなで話し合おう！減災まちづくりプロジェクト 	<p><主要プラン></p> <ul style="list-style-type: none"> ○シティセールス活動の推進 ○公共施設適正化の推進 ○広域連携の強化 ○「参加と協働」に主眼をおいた行政運営の推進
---	--	---	--	--	--	--	---

<分野施策>

<p>みんなであつくる 美しいまち 【市民環境分野】</p>	<p>笑顔とやさしさの 満ちあふれるまち 【健康福祉分野】</p>	<p>暮らしを支え、 未来を創造するまち 【産業経済分野】</p>	<p>地域特性を活かした 暮らしやすいまち 【都市整備分野】</p>	<p>ふるさとに学び、 人がつなぐ 人づくりのまち 【教育文化分野】</p>	<p>ともに築く 安全なまち 【消防防災分野】</p>	<p>協働と連携による 健全経営のまち 【行財政分野】</p>
--	---	---	--	--	-------------------------------------	---

<施策>

1-1 参加と協働の推進
2-2 地域防犯・交通安全の推進
1-3 環境共生まちづくり
1-4 環境保全の推進
1-5 衛生対策の推進
1-6 資源循環の推進

<施策>

2-1 健康づくりの推進
2-2 医療の充実
2-3 地域福祉の充実
2-4 児童福祉の充実
2-5 障がい者福祉の充実
2-6 高齢者福祉の充実
2-7 社会保障の充実

<施策>

3-1 農業の振興
3-2 水産業の振興
3-3 工業の振興
3-4 商業の振興
3-5 観光の振興
3-6 労働環境・消費生活の充実

<施策>

4-1 交通基盤の整備
4-2 公共交通の整備
4-3 港湾・河川・海岸の整備
4-4 市街地の整備
4-5 地域・住環境の整備
4-6 上下水道の整備
4-7 自然環境の保全
4-8 緑と景観の保全

<施策>

5-1 学校教育の充実
5-2 生涯学習の充実
5-3 スポーツの振興
5-4 青少年健全育成
5-5 芸術文化の振興
5-6 文化財の継承

<施策>

6-1 消防・救急体制の充実
6-2 防災・減災体制の充実

<施策>

7-1 国際化の推進
7-2 情報体制の充実
7-3 広域連携の推進
7-4 水資源の確保
7-5 行財政運営

第5章
計画推進のために
(P159～)

◆ 総合計画を推進していくための体制の充実、各施策の推進に当たり配慮すべき視点を整理

<推進体制の充実>

①地域コミュニティ、分野コミュニティへの支援

- 地域コミュニティ、分野コミュニティの**団体・組織の主体性や地域性等を尊重するとともに、当該団体・組織が行う活動に対し支援**を行うことで、総合計画の推進体制を強化。

②情報の受発信

- 市政に対する市民の関心を高めてもらうため、広報誌、市政情報番組、市政ほ～もん講座をはじめ、ホームページや新たな情報通信技術を活用するなど、**多様な媒体により市政に関する情報を積極的に発信**していく。
- 市民意識調査等により市民ニーズを的確に把握するとともに、行政・地区懇談会や市民提案制度など、**市民の意見を直に取り入れることができる取組みを引き続き推進**する。

③多様な主体との連携によるターゲットのニーズに即した体制づくり

- 各分野の専門家や、近隣自治体の力を活用するなど、**多様な主体と連携してプロジェクトや施策の展開を図っていく**必要がある。
- 産学官連携による有識者等の登用や、東三河地域・三遠南信地域の自治体との連携など、**ターゲットのニーズに即した柔軟な体制づくりを進めていく**。

<時代に即した田原市民の幸福の追求>

①「田原市民の幸福」に関する調査・研究

- 「幸福感」は人それぞれであることから、田原市民の幸福とは何か、市民の幸福のために行政はどのような取組を行えばよいのか、**継続的に調査・研究を行っていく**必要がある。
- このため、**指標の内容や幸福を追求できる環境等について調査・研究を行う組織を設置**し、その時代に即した「田原市民の幸福」を追求していく。
- このような議論を通して、市民一人ひとりが自分自身や家族、地域、社会全体の「幸福」について考え、町全体の幸福度を高めるための担い手となることで、真にゆとりと豊かさを実感できる田原市を目指す。

②「市民の幸福感」を根幹に据えた施策の展開

- 本計画に位置づけられた施策の推進に当たっては、**「市民の幸福」を第一に考え**、地域が持つ力や絆、市民一人ひとりの個性・能力を活かしながら、各種事務事業を実施していく。
- 特に、市民の幸福感に大きく影響すると考えられる**7つの重点プロジェクトについては、共通の認識のもと市民と行政が一体となって重点的に取り組む**。

<効率的な行財政運営の推進>

①行政サービスの充実

- 市民窓口のワンストップ化や、時間外の証明交付など、**市民ニーズに対応したサービスの向上**を図る。
- 様々な行政サービスにおいて**民間活力導入を進め**、民間企業の発想や経営手法等を行政運営に活かす。

②安定的な行財政基盤の確立

- 実施計画の策定、予算編成に当たっては、事業の緊要性や、将来的な本市への経済効果等も踏まえ**「選択と集中」**を図る。
- 利用頻度や必要性等を検証し、**公共施設の総量縮減**に取り組むとともに、**必要な施設については、長寿命化を図るなど計画的な改修・更新**を行う。
- 施設利用や公共サービス等で、特定の受益者の利用にかかるものは、**公平性の確保の観点から受益者負担の見直し**を行う。

③組織・職員管理体制の充実

- 職員定数の最適化、職員の育成・資質向上**に努める。また、重点プロジェクトを推進するため、**庁内横断的な体制を整備**。

④計画の進行管理

- 各施策の推進に当たっては「PDCA サイクル」に基づき、「施策評価」「事務事業評価」「市民評価（外部評価）」等の手法により**継続的な事業の見直し・改善**に努める。

田原市の課題の検証【SWOT分析→課題の抽出】

<田原市のSWOT分析>

	●田原市の強み Strengths	●田原市の弱み Weaknesses
	<ul style="list-style-type: none"> ◇海・山・気候などの豊かな自然環境 ◇全国トップクラスの農業や豊富な水産資源 ◇豊富な工業用地と大企業の立地 ◇豊富な流入人口（昼間人口） ◇国際的なゲートウェイとなる三河港の立地 ◇治安の良さ ◇活発な地域コミュニティ活動や市民活動 ◇先進的な環境施策の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ◇人口減少と少子高齢化の進行 ◇東西に長い半島という地理的特性 ◇道路・公共交通などアクセスが脆弱 ◇国内外における知名度の低さ ◇商業・サービス業の脆弱さ ◇医師不足に伴う医療環境の悪化 ◇合併に伴う行政最適化の遅れ
●田原市にとって好ましい機会 Opportunities	さらなる成長のために	弱みを改善するために
<ul style="list-style-type: none"> ◇「グリーン成長戦略」の推進（国） ◇「農林漁業再生戦略」の推進（国） ◇「観光立国戦略」「昇竜道プロジェクト」の推進 ◇「国土・地域活力戦略」の推進（国） ◇東三河の広域連携体制の検討 ◇東三河マニフェストの推進（県） ◇新東名高速道路・名豊道路など地域間幹線道路の進捗 	<ul style="list-style-type: none"> ◆農・漁業、環境、観光など地域資源を活かし、国の政策とも連動した活力ある産業形態の創造と産業人の育成 ◆三河港の機能向上と幹線道路へのアクセスの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ◆生活を支え賑わいの核となる市街地の機能向上 ◆道路・交通環境の利便性の向上 ◆広域連携やスリム化など行政の効率化と市民への情報受発信など透明性の向上
●田原市にとって心配される脅威 Threats	強みを活かし脅威を克服するために	脅威を回避するために
<ul style="list-style-type: none"> ◇国内人口構造の成熟化（人口減少・少子高齢化） ◇円高等による景気低迷の長期化 ◇製造業の海外移転など産業構造の変化 ◇連動型地震など大規模災害の可能性 ◇地球温暖化の進行やエネルギー問題の拡大 ◇地域主権改革（地方分権）の進展による地域間競争の拡大 ◇団塊世代の現役引退による退職者の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ◆観光資源となる優れた自然環境や景観などの保全 ◆地域力を活かした防災、子育て、介護等の環境整備 ◆立地企業の流出防止対策の強化 ◆元気な高齢者を新たな地域、市民活動の担い手として育成 ◆市外からの就業者の田原市への定住を促進 ◆地球温暖化への一層の対応 	<ul style="list-style-type: none"> ◆出産・子育て・教育環境の向上による年少人口の維持・拡大など少子化対策と介護等の環境整備など高齢化社会への対応 ◆地域医療体制の維持・拡充 ◆他との差別化による田原の個性（ブランド）の確立と知名度の向上 ◆災害に強い都市構造の形成

<田原市の課題> ※左記のSWOT分析から、総合計画の計画期間において対応すべき田原市の課題を整理。

<p>◆人口減少と高齢化時代への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の比率が増加するため、地域産業や地域活動の担い手となる「生産年齢人口」、将来地域を支える「年少人口」の一層の増加が必要。 ○都市の活力を維持するため、人口規模の維持・拡大は不可欠。市外就業者等の定住促進、結婚、出産、子育ての環境整備による出生数の拡大に積極的に取り組む必要がある。 ○経済活動の活性化のため、定住人口に加え、交流人口の拡大が必要。 ○高齢者の生きがいづくりや働く場の整備・確保、日常的な買い物や通院など生活を支える環境整備、介護が必要な高齢者を地域で支える仕組みづくり等が必要。 <p>◆市民の安全を守る都市の形成と地域防災力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○南海トラフの巨大地震等の大規模災害の発生が危惧される当地域では、地震・津波等から市民の生命を確実に守るため、防災施設や緊急輸送路の整備など安全な都市を形成することは重要な課題。 ○台風、高潮、ゲリラ豪雨等への対策として、主要河川等における浚せつ・堤防の嵩上げ等、市街地等における雨水排水機能の向上が必要。 ○地域住民や関係機関と連携し地域防災力を向上し、高齢者や子どもなど災害時要援護者への対応を図る必要がある。 <p>◆子育て・教育環境の向上と、地域活力を支える人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○都市を持続させていくためには人材育成は不可欠であり、子どもたちが生きていくための知識や能力、道徳を身に付け、自らの可能性を広げていくことができる質の高い子育て・教育環境の整備が必要。 ○産業活力や地域活力の向上を図っていくため、地域を拠点に様々な産業分野で活動、挑戦する人材や、地域活動や社会活動に新たに取り組む人材の育成が必要。 <p>◆活力ある産業の育成と操業環境の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農・漁業、工業、観光、環境など、産業の基盤整備の促進、担い手の育成、職場環境の向上等により、将来を支える足腰の強い産業集積が必要。 ○地域資源を活用し、国の政策とも連携した新たな産業の創造や海外戦略など、他都市との差別化による活力ある産業の振興も必要。 ○道路、港湾、公共交通など交通基盤の整備を促進し、物流・人流などの利便性を高め、新たな企業の誘致とともに、国外流出が懸念される製造業等への流出防止対策の強化が必要。 	<p>◆生活を支え賑わいの核となる市街地の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常的な買い物や飲食、医療、公共サービスなど都市機能の向上は、成熟型社会への対応や人口対策としても不可欠。 ○コンパクトな市街地に都市機能を集約することで、様々な都市的サービスが享受できる利便性が高い魅力的な市街地を形成する。 ○交通弱者である高齢者等に対しては、歩ける範囲内で日常生活を完結できる環境を整え、市街地への定住誘導や市街地の利用機会の拡大を図っていく必要がある。 ○市街地と周辺集落地域を結び交通環境を向上し、市街地への都市機能集約効果を全市域へ波及させることも必要。 ○既存の都市基盤等の有効活用や高度利用を図り、効率性が高く地球環境にやさしい市街地としていくことが必要。 <p>◆優れた自然環境の保全と地球環境への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道路沿線における除草やポイ捨て防止、海岸漂着物の除去、不法投棄の防止等については、継続的に取り組んでいく必要がある。 ○温暖化対策や再生可能エネルギーの導入等については、地球規模での環境への要求の高まりや、我が国のエネルギー政策の動向等を踏まえ、本市としても引き続き環境負荷低減に向けた取組を進めていく必要がある。 <p>◆行政の効率性と透明性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○合併により拡大した職員数や公共施設など、早急に適正化を図る必要がある。特に、増加した公共施設やインフラ資産は、必要性等を検証し縮減を図るとともに、残すべき資産については計画的な延命化等の措置が必要。 ○東三河地域における新たな連携により、より高度な市民サービスや事務の共同化など高質で効率的な行政運営が期待できることから、関係自治体と協調して取り組んでいく必要がある。 ○市民と一体となったまちづくりを推進するため、行政の情報発信機能・機会を高め、透明性の高い行政運営を行っていく必要がある。
--	---

「田原市の課題」へ対応するための施策体系 【重点プロジェクト→主要プラン→基本事業等】

<田原市の課題>P20

<重点プロジェクト>P39

<主要プラン>

<対応する基本事業等>



「強み・弱み」等 主な意見の計画への反映イメージ

	主なご意見	田原市の課題への反映(P20・21)	主なご意見に対応する取組 (①～⑦重点プロジェクト[P39-40] ★主要プラン 等)
1	バランスの良い産業	4) 活力ある産業の育成と操業環境の向上	③ふるさと人材育成プロジェクト、④地域の活力創出プロジェクト ★担い手の育成、★地域ブランドの推進[P86]
2	日本一の農業	4) 活力ある産業の育成と操業環境の向上	④地域の活力創出プロジェクト、③ふるさと人材育成プロジェクト ★担い手の育成、★地域ブランドの推進[P86]、施策 3-1 農業の振興
3	新鮮で豊富な食料	4) 活力ある産業の育成と操業環境の向上	④地域の活力創出プロジェクト、⑥環境と共生する地域づくりプロジェクト[P40] ★地域ブランドの推進[P86]、施策 3-1 農業の振興、施策 3-2 水産業の振興
4	豊かな自然環境	6) 優れた自然環境の保全と地球環境への対応	⑥環境と共生する地域づくりプロジェクト、★清掃・水質浄化活動の活性化による美しいまちづくり[P50] ★田原市の自然を活かした美しい景観の形成[P102]
5	豊富な再生可能エネルギー資源	6) 優れた自然環境の保全と地球環境への対応	⑥環境と共生する地域づくりプロジェクト ★再生可能エネルギー等を活かした持続する地域づくり[P50]
6	日本の中央という地理的特性	4) 活力ある産業の育成と操業環境の向上	土地利用の方針 1) 幹線道路等の充実、2) 港湾の振興[P27]、④地域の活力創出プロジェクト ★地域ブランドの推進[P86]、★シティセールス活動の推進[P146]、施策 3-3 工業の振興
7	進む人口減少	1) 人口減少と高齢化時代への対応	①人が人を支える協働の体制づくりプロジェクト、⑤快適で賑わいのある市街地づくりプロジェクト ★安心して子どもを産み、育てられる環境づくり[P66]★市民活動のすそ野を広げる担い手づくり[P50]
8	不足する若者の就職先	4) 活力ある産業の育成と操業環境の向上	④地域の活力創出プロジェクト、⑤快適で賑わいのある市街地づくりプロジェクト ★担い手の育成、★賑わいのあるまちなかの創出[P86]、施策 3-3 工業の振興
9	臨海地区就業者の市内定住化問題	1) 人口減少と高齢化時代への対応	⑤快適で賑わいのある市街地づくりプロジェクト、②地域の安心安全向上プロジェクト ★賑わいのあるまちなかの創出[P86]、★安心して子どもを産み、育てられる環境づくり[P66]
10	農業等の後継者不足	3) 子育て・教育環境の向上と、地域活力を支える人材の育成	③ふるさと人材育成プロジェクト ★担い手の育成、★地域ブランドの推進[P86]、★安心して子どもを産み、育てられる環境づくり[P66]
11	増加する未婚者	1) 人口減少と高齢化時代への対応	★安心して子どもを産み、育てられる環境づくり[P66] 施策 2-3 地域福祉の充実
12	一部産業への依存	4) 活力ある産業の育成と操業環境の向上	③ふるさと人材育成プロジェクト、④地域の活力創出プロジェクト ★担い手の育成、★地域ブランドの推進[P86]
13	幹線道路整備の遅れ	4) 活力ある産業の育成と操業環境の向上	土地利用の方針 1) 幹線道路等の充実[P27]、④地域の活力創出プロジェクト ★広域連携の強化[P146]、施策 4-1 交通基盤の整備
14	弱い情報発信力	7) 行政の効率性と透明性の向上	④地域の活力創出プロジェクト ★シティセールス活動の推進[P146]、★地域ブランドの推進[P86]
15	特色のない教育	3) 子育て・教育環境の向上と、地域活力を支える人材の育成	③ふるさと人材育成プロジェクト ★子どもの個性をみがく、学びの環境づくり[P122]、★次の世代への田原市の歴史・文化の継承[P122]
16	不明確な観光ビジョン	4) 活力ある産業の育成と操業環境の向上	④地域の活力創出プロジェクト ★観光プロモーションの充実[P86]、★シティセールス活動の推進[P146]
17	津波の不安	2) 市民の安全を守る都市の形成と地域防災力の向上	②地域の安心安全向上プロジェクト、★災害に備えたライフライン・都市基盤づくり[P102] ★防災についての意識啓発と正しい知識の普及、★地域における防災組織の強化[P138]
18	東西に長い半島地形	5) 生活を支え賑わいの核となる市街地の整備	土地利用の方針 1) 地域の個性の発揮[P26]、⑤快適で賑わいのある市街地づくりプロジェクト ★使いやすく適正な公共交通の仕組み構築[P102]、★賑わいのあるまちなかの創出[P86]
19	道路上の雑草やごみの問題	6) 優れた自然環境の保全と地球環境への対応	⑥環境と共生する地域づくりプロジェクト、①人が人を支える協働の体制づくりプロジェクト ★美しく、安全で快適な道路環境の維持[P102]、★市民活動のすそ野を広げる担い手づくり[P50]
20	幸福感について 幸福「人生最後に生まれてきて良かったと思えること」 不幸「自ら死を選ぶこと」	-	まちづくりの理念 みんなが幸福を実現できるまち[P24] まちづくりの方針 1 「市民の幸福感」を根幹に据えたまちづくり[P25]市民幸福度指標 田原市民が幸福を追求できる環境(案) [P31] 田原市の市民幸福度指標(案) [p32]